

ハノイ工科大学とアイDEM協同教育プログラムにおける協定を再締結 ハノイ工大での8回目の調印式を開催

総合人材情報サービスの株式会社アイDEM(東京都新宿区 代表取締役社長: 栂山 亮)が展開するアイDEMグローバルは、ベトナムの理工系大学最高位であるハノイ工科大学(Hanoi University of Science and Technology: HUST, Vietnam)と2018年より実施している協同教育プログラムに関する協定を再締結し、8回目の調印式をハノイ工科大学にて執り行いましたのでお知らせいたします。

協同教育プログラムは、日本企業で就業するために必要なスキルを持ち合わせた人材を育成するための講座です。2018年8月より開始した年間500時間×2年間のプログラムで、日本での就業を希望する3年生・4年生(いずれも学士課程)・5年生(エンジニア課程)が対象。初級レベル(N5・N4)の日本語教育から始まり、2年目にはN3レベルの到達を目標とします。日本語の修得に加え、日本企業におけるビジネスマナーや日本文化の理解向上を図り、就業するために必要な要件を学ぶ機会とします。また、企業の人材要件を満たすプログラム受講生には日本企業への来日インターンシップを実施。2025年は計16名のハノイ工科大学生がインターンシップに参加。学生達のモチベーション向上を狙うとともに、学生・企業双方の理解促進の機会創出を図りました。2025年8月までにプログラムを修了した学生において、延べ80名の学生が日本企業より内定を獲得しています。今回の調印式は、第8期生の受け入れを対象とし、今後2年間のプログラムを実施してまいります。

締結日: 2025年9月16日(火)



【調印: 左から ハノイ工科大学 副学長 Huynh Dang Chinh(フィン・ダン・チン)様、株式会社アイDEM 取締役部長 栗原健治】

■アイDEMグローバルについて <https://www.aidem.co.jp/global/>

エンジニアなどの高度人材から特定技能・インターンシップまで外国人雇用をサポートしています。言葉の壁による齟齬がないよう、社内に外国人専任スタッフを配置し、母国語でのサポート体制を整えています。2018年8月よりベトナムの理工系大学最高位であるハノイ工科大学(Hanoi University of Science and Technology)との協同教育プログラム講座を開設。日本企業で就業するための日本語教育や日本の文化・ビジネスマナーの理解促進を図り、日本企業への就業を目指す学生と、採用したい企業をマッチングする面接会イベントを企画・運営しています。2019年5月より特定技能の“登録支援機関”として外国人材のご紹介から申請書類関係のサポート、受け入れに係る支援の実施までワンストップで対応しています。登録支援機関登録番号 19登-000325